

「認知症」とは？

認知症を早期に発見しよう

認知症は、長寿社会に生きる我々にとって避けて通れない大きな問題です。認知症にならないためには、まず認知症について正しく理解し、予防・早期発見に努めることが重要です。本コラムでは、認知症についてごく簡単に解説いたします。



織茂 智之
(おりも さとし)

公立学校共済組合関東中央病院 神経内科統括部長
東京医科歯科大学臨床教授、非常勤講師 / 医学博士

日本パーキンソン病・運動障害疾患学会理事
日本神経治療学会理事 / 日本神経学会専門医、代議員
日本内科学会認定内科医

【受賞歴】平成11年度上田記念心臓財団賞
平成19年度日本神経学会橋本賞
平成20年度東京都医師会医学研究賞
平成20年度松医会賞（信州大学同窓会）など

認知症とは？

昨日食べた夕食のメニューを思い出せないとか、良く知っている人なのに名前が出てこない、などの経験はありませんか。多くの場合、これは“老化によるもの忘れ”で一時的なものです。一方認知症の患者では、食べたこと自体を忘れまじし、人の名前だけでなく、親しい人との関係・続柄等が分からなくなります。症状が進行すると、記憶・知識自体が消失してしまいます。このように認知症とはいったん個人が獲得した知的あるいは精神能力が失われて元に戻らず、日常生活に支障をきたしてしまう状態です。



1 認知症をきたす疾患にはいろいろあります

認知症をきたす疾患にはさまざまなものがあります。脳の神経細胞そのものが次第に衰えていく疾患としては、アルツハイマー型認知症が最も多く、次いでレビー小体型認知症という幻視やパーキンソン症状のみられる疾患があります。これらは根本的な治療法はまだありませんが、進行を遅らせたり、症状を緩和する治療法があります。脳梗塞や脳出血が原因でおこる認知症は、血管性認知症と呼ばれています。脳の腫瘍や慢性硬膜下血腫、正常圧

水頭症等でもおこり、これらは脳外科で手術をすれば良くなる疾患です。その他、ホルモン・ビタミンの異常、種々の内科疾患（例えば低血糖が続くとき、ナトリウムなどの電解質の低下、腎不全や肝硬変等のとき）、脳の感染症でおこることがありますが、原因を治療することにより認知症の症状は改善します。薬の副作用でもおこることがありますので注意が必要です。

2 認知症はどのように診断するのでしょうか

まず、認知症があるかどうかを本人や家族から問診します。その上で、認知症の簡易テストを行い認知症があるかどうかを確認すると同時に、その程度、どの問題に間違いがあるか等を確認します。簡便に行える知的機能の評価テストとして、長谷川式簡易スケール改訂版、Mini-mental State Examinationが用いられます。血圧や胸部の聴診等の一般の診察、手足の動きや固さ、震えの有無、歩行の状態等の神経の診察をします。次に認知症をきたす疾患を鑑別していきますが、この際血液検査、脳MRIは必須で、脳血流シンチグラフィ、MIBG心筋シンチグラフィ等を行うことがあります。脳MRIは脳梗塞や脳出血、

脳腫瘍、慢性硬膜下血腫等があるかどうか、脳の萎縮、特に記憶の中核とされる海馬の萎縮が目立つかどうかをチェックします。海馬傍回の萎縮の程度を数値化して客観評価する方法が導入されています（VSRAD）。脳血流シンチグラフィは、脳の表面側にある神経細胞の機能が正常か低下しているかについて判定してくれます。認知症をきたす疾患によって神経細胞の機能低下部位がある程度決まっております。補助診断として有用です。MIBG心筋シンチグラフィは心臓交感神経の機能をみる検査で、レビー小体型認知症かどうかの診断が可能です。



3

早期発見が重要です

前述のとおり、認知症をきたす疾患にはさまざまなものがありますが、早期に発見すれば完治させることができる疾患も少なからず存在し、また頻度の一番高いアルツハイマー型認知症も進行を遅らせたり、症状を緩和させることが可能です。従って、もの忘れなどの認知症の症状がみられた場合には、早期発見につながる脳ドックを受診することをおすすめします。



公立学校共済組合 関東中央病院 脳ドックのご案内

当院は直営病院として、組合員の皆さまとそのご家族に対する質の高い医療を提供するとともに、人間ドックおよび**高次脳機能検査を含めた脳ドック**を実施しており、各診療科との連携により、予防から治療まで一貫したフォローを行っています（脳ドックには東京支部の助成はありません。）。

脳ドックの検査内容

- MRI（脳腫瘍や脳梗塞、脳の萎縮等を調べます。）
- MRA（脳動脈瘤や血管の狭窄等を調べます。）
- 頸部超音波検査（頸動脈の動脈硬化の状態を調べます。）
- 高次脳機能検査（認知機能検査、意欲検査、うつ状態を検査します。）
- 心電図
- 身体計測、血圧測定、血液・尿検査
- 眼底検査、眼圧検査
- ご希望によりオプション検査を追加（組合員は一般料金の約20%割引）
 - ・動脈硬化検査（血圧脈波検査）
 - ・睡眠時無呼吸検査
 - ・MCIスクリーニング（軽度認知障害検査 / 血液検査）
 - ・LOX-index（脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査 / 血液検査）



実施日

月・火・水・木（事前のお申込みが必要です。）

脳ドック料金

44,000円（消費税別）
基本ドック（日帰りドック）と同日または1ヶ月以内に受診の場合は**10,000円割引**

交通費補助

人間ドックまたは脳ドック受診日の交通費を90%支給（いずれか年1回）

★こんな場合に東京支部の助成が受けられます★

基本ドック（日帰りドック）を受診される方は、オプション検査の脳MRI（断層撮影）・脳MRA（血管造影）を**自己負担額19,000円**で受けることができます。その他にも基本ドックに加えて助成を受けられるオプション検査や、単独で受診できる器官別健診がありますので、お気軽にお問い合わせください。

【お申込み・お問合せ】 受付時間 / 平日9:00～16:00

〒158-8531 東京都世田谷区上用賀6-25-1

公立学校共済組合関東中央病院 健康管理係

☎03-3429-1171（代） 内線2123

*日本脳ドック学会認定施設

